

# 王子動物園前 平利憲法と動物大好き ビラ配り

5月3日・朝10時～ せひ お手伝い下さい



▲▼写真は、いずれも昨年の行動

能登半島の後も豊後水道で地震が発生、原発もトラブル続きます。日本経済も39年ぶりの円安で、頼みのインバウンドも期待薄に。自民党政治は相変わらずのカネまみれで国民の

不信感を大増幅。消費物資も社会福祉負担も値上げ、官製春闘があつてもなくても四苦八苦生活。身の回り、例えば王子公園問題など一緒に声を上げましょう。みんなの力を集めましょう。



「人間第一」を、神戸から全国へ、世界へ  
タンタンが、神戸の私たちを見てる

毎月二五日  
憲法を生かす会・灘 発行  
**憲法を生かす会・灘**  
**ニュース**

242号  
2024年4月25日

神戸市灘区天城通 3-5-19  
TEL.078-801-8448  
FAX.078-801-8899  
nsp-nada@vega.ocn.ne.jp

4月25日現在  
《呼びかけ人》 38人  
《会員》 66人・5団体  
《賛助会員》 65人  
個人会員の会費は年三千元  
賛助会員の会費は年千円以上  
《呼びかけ人》と会員は募集中

郵便振替口座：  
00900-4-204718  
憲法を生かす会・灘

## 5・3 兵庫憲法集会

戦争させない、9条壊すな！  
憲法はあなたの命と未来のサポーター

5月3日(金・祝) 午後1時開会  
神戸・みなとのもり公園 (三宮・貿易センター南)

- 1めん 5・3ひょうご憲法集会/A10から王子動物園前ビラ
- 2めん タンタン、天国から神戸の市民見守って/先輩・仲間の団体
- 3めん こわさんとして！市民の公園/ボクの昭和(最終回)/いのち
- 4めん 森近運平墓前祭/川柳/編

<プログラム>

13:00	開会の音楽 川口真由美&カオリンズ 主催者・来賓あいさつ	15:00	スローガン採択 憲法アピール
14:30	メインスピーカー 内田 樹さん	15:05	団結がんばろう 閉会後はパレード



たつる  
内田 樹さん

戦争させない、9条壊すな！ 総がかり行動兵庫県 (略称：総がかり行動兵庫)



**王子プールの再整備計画**

みなさんの願い  
王子プールを  
なくさないで!

神戸市は王子プールについて、今年度の夏で閉園し、解体工事を実施する計画です。多くの市民から反対の声が寄せられ、再整備計画が求められています。再整備計画は、プールを廃止し、代わりにテニスコート、体育館、遊園地、プール、立体駐車場、大学誘致などを整備するものです。

再整備計画の概要

- テニスコート 廃止
- 体育館 存続
- プール 廃止
- 立体駐車場
- 大学誘致
- 遊園地
- プール
- テニスコート

みなさんの王子プールはなくなりたくないです。

署名用紙があります

お名前 住所

「王子プールなくさないで！」の署名用紙あります



市民の公園  
こわさんとこにてー神戸市長

# 天国から神戸の市民を見守ってね！ タンタン



「神戸のお嬢様」とも呼ばれ、お茶目だったタンタン(神戸新聞)

動物園に来てくれたみんな  
24年間愛してくれて  
神戸のみんな  
本当にありがとう

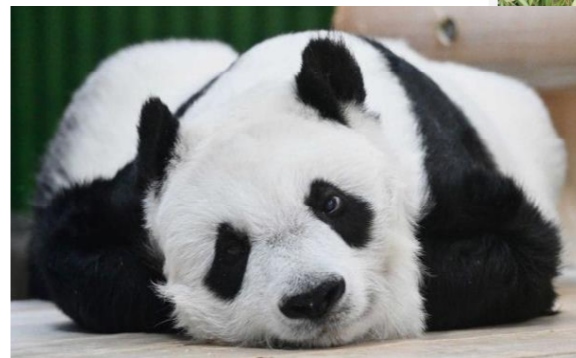
大震災で傷ついた神戸の街と市民を、24年にわたり癒やし続けたパンダのタンタン。死亡が発見された4月1日、開花した動物園の桜の花々に見送られ、タンタンは天国へ旅立っていった。

タンタンの歩み	
1995年9月	中国・四川省で誕生
2000年7月	初代コウコウとペアで王子動物園へ
2002年12月	初代コウコウが帰国し、2代目コウコウが来神
2007年8月	人工授精で初めて妊娠したが死産
2008年8月	初めて無事に出産したが、赤ちゃんは生後4日目に死ぬ
2010年9月	2代目コウコウが14歳で死ぬ
2020年7月	貸与期限を迎えたが、コロナ禍や病状により帰国せず
2024年3月31日	心臓疾患に起因する衰弱死

年表は神戸新聞



大好きだった竹、でも飼育員さん泣かせの竹クルメだった



昨年の9月、体調不良でゴロゴロしていたタンタン



大学では社会医学研究部に入りました。医進(医学進学課程)2年になった春に、愛媛県南予に行きました。この地域に先輩方がいて、行政と共同で総合保健活動をしていました。その一環で夏に愛治という所で地区診断をすることにになり、それに向けての事前調査活動に呼ばれたのです。

山の中の病院で先輩達が、なんだか楽しそうに医者をしている。こちらにチョンチョンとジャブを打ってくる。それが心地よかった。日中は農村の調査活動をし、夜は数人の学部生、OBと議論する。充実感がありました。

社医研の活動には結構真面目に顔を出しました。夏には島根の山村部や大根島でのフィールドワークと、愛媛県南予の地区診断活動の二本立てで、そのどちらにも首を突っ込んでいたので、夏休みも家に帰っている暇がなかった。

今、学生時代を振り返ってみるとフィールドワークという現実的盤に足を据えて活動をするという方法論を持った社医研というサークルの中で、

「終わり」だそうです。長い間の執筆ありがとうございました。

サークル活動を通して、そこに集まってきた人たちを通して、いろいろと学ぶことができたといえます。

冷静沈着に見える人もいれば、熱く語る人もいたけれど、共通して教えることをしなかった。「ぼくはこう思う」ということはあっても、「それはこうだよ」という言い方はまずしなかった。最終的には君が自分の頭で考えることだよって訳です。

借り物でない自分の思想を現実の中で学びながら鍛えていく、それが「自分の肩の上に自分の頭を乗せる」ということなんだ。ボクが部活動の中で教わったことは、そういうことだったと思います。

昭和52(1977)年に卒業して、曇天の続く山陰から陽光さんさんたる山陽の地神戸へ出てきました。

これで私の話を終わりにしたいと思えます。

※2017年5月から毎月連載していた「ボクの昭和」が、とりあえず「終わり」だそうです。長い間の執筆ありがとうございました。

## なかまの団体、先輩団体からの通信・会報

### 許すな！憲法改悪・市民連絡会

●私と憲法(274号)  
・岸田改憲、憲法審査会の動向と政治の転換  
・図書紹介:「続・福島からの道」角田京子著  
・大江健三郎と「私」-1982年から2023年まで一文学と政治の結び合い 小森陽一さん

### 神戸学生青年センター

### ●食糧環境セミナー

各参加費1000円  
「放射線育苗米 — あきたこまちRとは?」  
・5月18日(土)午後1時30分~3時  
・河田 昌東さん(遺伝子組換え情報室 代表)  
「原発からの命の守り方 2024~能登半島地震、珠洲・志賀原発、そして福島原発事故から13年の新事実を踏まえて~」  
・6月15日(土)午後1時30分~3時  
・守田敏也さん(ジャーナリスト)  
<会場>いずれもホール(ウエスト100、本館2階)

### ●朝鮮史セミナー

参加費1000円  
「村山知義と朝鮮、そして宝塚歌劇団」  
・5月30日(木)午後6時半 ウェスト100  
・高龍弘さん(兵庫朝鮮関係研究会会員)

### ●飛田雄一オカリナコンサート

(ピアノ系原摩理)  
・6月1日(土)午後3時(2時半開場)  
・ホール(ウエスト100、本館2階) 入場料1000円  
・<演奏予定曲> Believe (NHK生き物地球紀行)など多数



1999年から2010年にかけての「平成の大合併」が行われた。合併で新規に誕生した団体が588に対して、元は2093あった市町村が合併後は1139。防災や福祉など住民生活に大きな影響を与えている。

ところが、今現在では都市の機能を一定範囲に集約する国の「コンパクトシティ」構想が進められている。昨年末時点で構想の具体化「立地適正化計画」を策定した自治体は、全国市町村の3割の537。国は25年3月までに600に引き上げたいようだ。より絞るやり方だ。

毎日新聞が報じていたが、北九州市の計画資料では「人が住んでいるのに『無居住地区』と書かれ頭にきた」と住民の苦情。「市街化区域」を開発を抑制する「市街化調整区域」に「逆線引き」しているからだ。

▼わが神戸市も「よりコンパクトなまちづくり」と称して「神戸市都市空間向上計画」を策定中だ。「王子公園再整備計画」は、これらと関わりが深い。

▼住民生活の関わり無視した計画を許すわけにはいかない。



# ウグイスの声 響く中 4月21日・岡山県井原市 しめやかに森近運平の墓前祭

## 岡山で大逆全国サミット(来年)

4月21日岡山県井原市いばらで、大逆事件で刑死した森近運平の墓前祭があり、兵庫県からも有志が参加した。

森近運平は、神戸の「平民新聞」読者・小松丑治、岡林寅松らの活動を講演会の講師などとして彼らの運動を支援。

昨年(2023) 神戸開催の大逆サミット、今度は来年に岡山で開催されることになった。

「父上は怒り玉ひぬ 我は泣きぬ

さめて恋しき 故郷の夢 とし彦」

1911年1月24日、わずか30歳で刑死した森近運平。彼の故郷、岡山県井原市高屋町の生家跡に建てられている「森近運平之碑」(碑銘は荒畑寒村書)。また森近在獄中で処刑前に残した歌、揮毫した堺利彦が「とし彦」と末尾に署名。  
死刑直後は墓すらも許されず、刑死から50年して、この地に墓が建ち記念碑もできた。



地元の「森近運平を語る会」  
会長・森山誠一さんのあいさつ



▲「幸徳秋水を顕彰する会」(高知)からは、来年没後50年を迎える「坂本清馬」の顕彰碑建立、記録映画の作成など、取り組みを報告する田中全事務局長(前四万十州市長)



明治44年の刑執行直後は、墓石や戒名すら禁止されていた森近運平。それでも、親族や近所の人たちの手で墓の周りはキレイに整えられ、花と線香は絶えることはない。

▲「大逆事件の真実をあきらかにする会」事務局長の山泉進さん(明治大学名誉教授)

### 俳句・山柳

募集

骨を抜き

カネづる残す

刷新案

ウラ金が自民党に蔓延し内閣支持率は最低に。信頼回復のために刷新本部を立ち上げたが、議論はモタモタ。やつと出た案はパーティーも企業献金にも手をつけず。これが刷新？

「おはよう川柳」(4/25)

### 編集後記

### へんしゅういき

### 編集後記

▼西脇、加西など県内13市町が「消滅可能性」と民間「人口戦略会議」が脅す。  
▼やたらと経済安保関連法案。警視庁公安のでつち上げ「大川原化工機」事件もどきが増える？

▼マイナ保険証が使えぬ病院を「ちくり」させ、利用増の病院へは最大20万円と！  
▼大熊猫パンダ好きにはこたえたタンタンの死。みなさまどううかが自愛下さい。